

教育長の挑戦！南丹市小中学校をチームにして子供を育てる — 國府常芳・[京都府] 南丹市教育委員会教育長 —

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

(ご紹介)



國府常芳

こくふ つねよし

(京都府)
南丹市教育委員会
教育長

南丹市



もと

- ・(京都府) 南丹市立園部中学校校長
- ・京都府中学校校長会会長
- ・京都府総合教育センター教師力向上アドバイザー



Number16

INTERVIEW: 國府常芳・京都府総合教育センター／もと園部中校長)

**「あの園部中」の子供が
なぜそこまで学びに向かったのか？**

2021.4.2

Never Give Up

データをもとに生徒、保護者、地域、教員と徹底的に対話

国府常芳 令和3年3月

Number9(桐蔭学園)

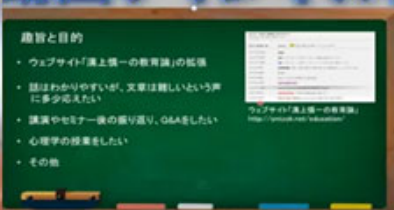
⑦ICTを利用して「運動ができればOK」を
乗り越える体育科の事例集(桐蔭横浜大学)



体育以外の異なる教科
幼稚園から大学までの異なる学校種の教育関係者
に響くものがあると思います!

Number 1

「溝上慎一の教育論
動画チャンネル」キックオフ



Number 9(桐蔭学園)

④大学剣道部にアクティブラーニング?
『剣道日本』への掲載記事を踏まえてインタビュー



剣道を楽しく環境づくで
人口減少に“待った”
桐蔭横浜大学

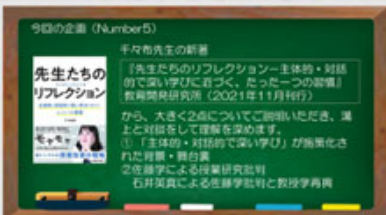


No173

2022年ベスト5

Number 5

①千々布敏弥先生との対談
ー「主体的・対話的で深い学び」が施策化され
た背景・舞台裏に迫るー



Number16

INTERVIEW: 國府常芳・京都府総合教育センター/もと園部中学校長)

「あの園部中」の子供が
なぜそこまで学びに向かったのか?

Never Give Up

データをもとに生徒、保護者、地域、教員と徹底的に対話



それではご覧ください

私が目指す南丹市の教育

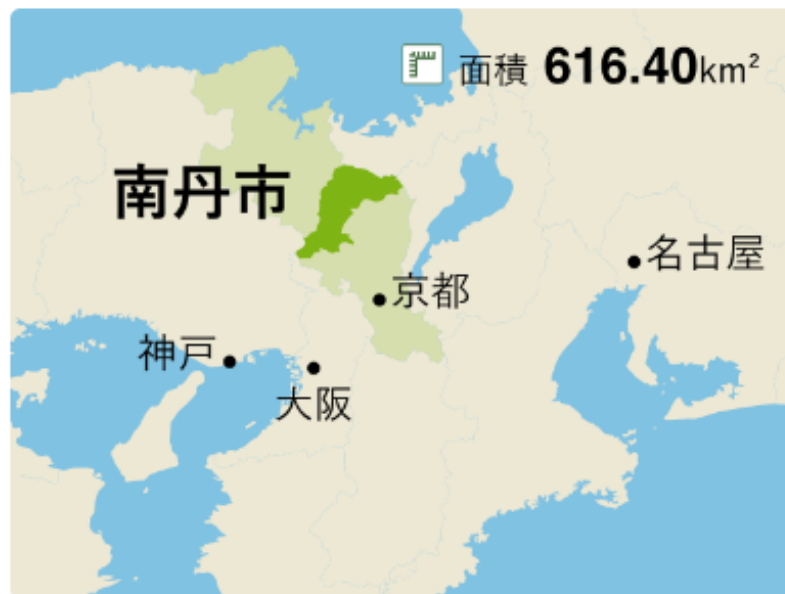


南丹市

人口・世帯数 (2023年5月1日現在)

男	14,733人
女	15,569人
合計	30,302人
世帯数	14,368世帯

> 人口・世帯数の推移



2006 南丹市
園部町、八木町、日吉町、美山町の合併



ブーナンおじいさんと ルリルリ さくらちゃん

園 名	園 児 数	総計
	計	
園部幼稚園	53	74
八木中央幼児学園	21	

学校名	学級数			計	総計	(再掲) 特別支援 学級在籍数
	単式学級	複式学級	特別支援学級			
園部小学校	20	1	7	583	1,363	36
園部第二小学校	8		2	217		13
八木西小学校	6		2	140		5
八木東小学校	6		2	147		5
殿田小学校	4	1	2	46		5
胡麻郷小学校	6		2	104		4
美山小学校	6		2	126		8

学校名	学級数		生 徒 数				総計	(再掲) 特別支援 学級在籍数
	単式学級	特別支援学級	1 学年	2 学年	3 学年	計		
園部中学校	12	4	125	126	112	363	679	19
八木中学校	6	2	54	47	45	146		6
殿田中学校	3	2	30	28	37	95		7
美山中学校	3	1	24	18	23	65		2
桜が丘中学校	2		0	4	6	10		0

南丹市が目指す市民像 とは

南丹市の「市民像」

人権が尊重される温もりある地域社会の一員として、自然と文化の薫り高い「ふるさと南丹市」を愛し、生涯にわたって主体的で心豊かに学び続け、共に生きようとする市民

南丹市の教育の基本理念を実現するための3つの柱

- ・生涯にわたって学び続ける力の育成と環境の構築
- ・ふるさと南丹市を愛する心の醸成
- ・これからの社会を生き抜く力の育成とつながりの構築

自己紹介 と 教育理念

～ 自己紹介 ～

南丹市立八木中学校

地元

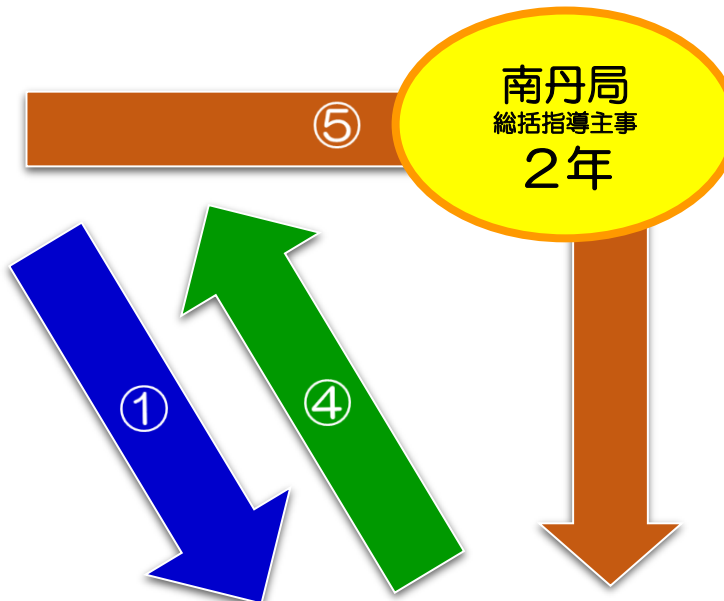
・ 歴史的課題

① 8年

⑤ 4年（校長）



学力を上げてこそ
負の連鎖が切れる



南丹市教育委員会
教育長



京都府総合教育センター
教師力向上アドバイザー



亀岡市立南桑中学校

・ 歴史的課題

・ 青葉学園（児童福祉施設）

③ 8年（教頭2年）



南丹市立園部中学校

・ 歴史的課題

② 8年

④ 2年（教頭）

⑥ 4年（校長）

勤務校
南丹市立八木中学校
南丹市立園部中学校
亀岡市立南桑中学校
教頭 4年間
校長 10年間

教育理念

【教育基本法】

第一章 第一条 （教育の目的）

教育は、**人格の完成**を目指し、**平和で民主的な国家及び社会の形成者**として必要な資質を備えた心身共に健康な**国民の育成**を期して行わなければならない。

【教師としての信念】

- 教育によって生徒の背景にある**負の連鎖を切る（人生を変える）**
- 義務教育終了時、**夢と希望を持って進路を実現できる生徒の育成**

私の教育理念

児童・生徒は、**産まれる場所も姿も環境も選べない**
しかし、**義務教育は全ての人に保障されている**
だから義務教育で**全ての生徒の可能性を伸ばし進路を実現**する

人権教育を基盤に



南丹市教育長就任にあたって



自分ありきではなく
南丹市の子どもありきの教育を

管理職に対して
リーダー（管理職）像の徹底
～ 合言葉は「リセット」～



○ 軸をぶらさない者

※ 常に「教育理念」を基に対応

○ メタ認知能力を備えようとする者

※ 自分を常に向上させ 苦手なことを克服しようとする者

○ 部下を大切にできる者 ※ 仲が良いのと仕事は別

【自己チェック】 ・ 1つの価値観で判断していないか
・ プライドだけで対応していないか

○ 自ら行う教育を示すことができる

※ 「教育の見える化」や具体的な手立てが示せる者

目指す南丹市の教育を実現する為に

～ R-PDCAサイクルで ～



子どもありきの教育を実現 ～ 全ての子どもの可能性を伸ばし進路を実現する教育を ～

不登校生徒への対応

- ・ 校内組織充実による指導力の向上
- ・ 他機関との連携強化
～ 「チーム学校」の視点で課題克服

教師力向上に向けた職員研修の充実

- ・ 授業力向上の為に授業研究会実施
- ・ 生徒理解力向上の為に研修会実施

課題へのアプローチ



学力向上 人権教育の充実



部活動地域移行に向けた取組

- ・ 生徒保護者目線と教員の負担軽減

人材育成（授業力向上）の柱を

- ・ 文部科学省等の指定
OJTの視点を取り入れた取組

非認知能力の育成

- ・ ブロック活動の充実
就学前教育との連携を継続に

南丹市教育の強み

GIGAスクール構想
早期実現と環境整備
校内LANの整備
iPadを活用した授業実践

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクー）を早期に導入
「良い学校教育が良い社会をつくる」を実現する教育実践

社会の変化や要望に対応した教育
環境の充実

○中学校給食の早期実施
○放課後児童クラブの施設整備
○適応指導教室「さくら」の開設
～「個別最適な学び」の実現

ブロック活動の充実
（園部・八木・殿田・美山）
縦の連携による教育の充実
生徒理解・非認知能力の育成 等

主体的・対話的で深い学びを実現
する授業研究
新学習指導要領の目的「どのよう
に学ぶか」を実現する教育実践

共同学校事務室の早期設置
学校事務の効率化と人材育成 等

学校図書館を拠点に『ことばの力育成』～ H24から「ことばの力育成支援員」が南丹市内全小中学校に配置

教育委員会としての具体的な取組

ICTの利活用

教育委員会と各幼稚園・小学校・中学校との連携強化と効率化
teamsの活用（校長・教頭・教務主任・生徒指導主任 等）

移動時間の削減
業務改善



教育委員会としての具体的な取組

教育の見える化

南丹市教育実践シート作成

各校の強みと課題

自校SWOT分析

(〇〇中学校)

	好影響	悪影響
内部環境	自校の有している資源に関して優れていること	自校の有している資源に関して劣っていること
外部環境	自校を取り巻く環境で好影響を及ぼすと考えられること	自校を取り巻く環境で悪影響を及ぼすと考えられること

南丹市教育のレベルアップ

学校訪問

- ・SWOT分析
- ・学校経営計

自校教育紹介シート
他校に紹介したい実践内容

幼児・児童・生徒
のための教育実践

教育委員会としての具体的な取組

人材育成

教頭会・教務主任会等各会議で教育長講話を1時間

資料や動画をTeamsに
いつでも振り返りができる
校内研修会での活用

5月 校園長会議



キャリア教育担当者会議



※ 南丹市教育マニュアル及び教育長講話集の作成

当面の課題に対する対応（方向性の提示）

人権教育の充実
学力向上

当面の課題に対する対応（方向性の提示）

○ 教師力向上の取組

※ 教職員研修の充実

- ・ 授業力向上に向けた授業研究会の実施
- ・ 生徒理解力の向上に向けた研修会の実施

○ 不登校生徒への対応を充実

- ・ 校内組織の充実による情報共有と分析力の向上
- ・ 他機関との連携強化
～ 「チーム学校」の視点で課題克服に向けた教育実践

当面の課題に対する対応（方向性の提示）

- 人材育成（授業力向上）の柱を
文部科学省・京都府教育委員会（南丹教育局）の指定
OJTの視点を取り入れた取組 例 みんな19時間
- アフターコロナに向けて ※基礎疾患を持つ人への配慮
・ 「不易と流行」の視点で学校行事の整理
- 非認知能力の向上
・ ブロック活動の充実 ～ 就学前教育からの学びを大切に
- 部活動地域移行に向けた取組
教員の負担軽減と生徒を大切にする視点

南丹市教育のキーワード

- 「場の構造化」と「時間の構造化」
 - ・ 教育環境整備（不登校生徒対応教室 等）
 - ・ 年間行事予定の整理（水曜日） ・ 会議設定時間
- 「ICTの利活用」
 - ・ 不登校児童生徒や特別支援的な課題を有する児童生徒への対応
- 「自己有用感」に基づいた「自尊感情」の育成
 - ・ 生徒指導3機能を活かした授業実践
 - ・ 生徒が認められる場の設定 伝達表彰の在り方 広報 等

※「自己研鑽と向上心」の姿勢が信頼関係の構築につながる

校長・教頭姿勢 → 教職員姿勢 → 児童・生徒の学び



令和5年度南丹市教育の充実に向けて



子どもありきの教育を実現～全ての子どもの可能性を伸ばし進路を実現する教育を～

不登校生徒への対応

- ・校内組織充実による指導力の向上
- ・他機関との連携強化
- ～「チーム学校」の視点で課題克服

教師力向上に向けた職員研修の充実

- ・授業力向上の為に授業研究会実施
- ・生徒理解力向上の為に研修会実施

課題へのアプローチ



学力向上
人権教育の充実



部活動地域移行に向けた取組

- ・生徒保護者目線と教員の負担軽減

人材育成（授業力向上）の柱を

- ・文部科学省等の指定
- ・OJTの視点を取り入れた取組

非認知能力の育成

- ・ブロック活動の充実
- ・就学前教育との連携を接続に

南丹市教育の強み

GIGAスクール構想

- 早期実現と環境整備
- 校内LANの整備
- iPadを活用した授業実践

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクー）を早期に導入
「良い学校教育が良い社会をつくる」を実現する教育実践

社会の変化や要望に対応した教育環境の充実

- 中学校給食の早期実施
- 放課後児童クラブの施設整備
- 適応指導教室「さくら」の開設
- ～「個別最適な学び」の実現

ブロック活動の充実

- （園部・八木・殿田・美山）
- 縦の連携による教育の充実
- 生徒理解・非認知能力の育成 等

主体的・対話的で深い学びを実現する授業研究
新学習指導要領の目的「どのように学ぶか」を実現する教育実践

共同学校事務室の早期設置
学校事務の効率化と人材育成 等

学校図書館を拠点に『ことばの力育成』～H24から「ことばの力育成支援員」が南丹市内全小中学校に配置



児童・生徒は 産まれる場所も姿も環境も選べない。
しかし 義務教育は全ての人に保障されている。
だから 義務教育で全ての子どもの可能性を伸ばし進路を実現する